

# 磐城時報

五日刊  
編輯部 磐城石城郡平町野田十四  
印刷部 磐城石城郡平町野田十四  
發行部 磐城石城郡平町野田十四  
電話 磐城石城郡平町野田十四  
印刷 磐城石城郡平町野田十四  
廣告部 磐城石城郡平町野田十四  
電話 磐城石城郡平町野田十四  
印刷 磐城石城郡平町野田十四  
廣告部 磐城石城郡平町野田十四

## 大瀧發電所問題の 解決速進會生る

### 平水道の利益保全を基礎とし 感情を去つて研究するのが目的

大瀧發電所問題は平町行政第五、本會に左の役員をたぐ  
に反対して、發電所と妥協した方  
が平町の利益とする側と二派  
に分れ互に相論議し紛糾の度を  
加へつゝあるが、昨今では發電  
所と妥協する程度で考へてはな  
く、多少ともこの平町の紛糾を  
何とか解決せねばならぬと考へ  
る者も、過般來演説會或は  
どう振布等より町民を説伏し  
つゝあるが、今回この一派の  
人々は相謀つて平町水道の利益  
保全を基礎とし従來の感情を捨  
て公平なる立場から該問題を研  
究して速かに解決をつけやう  
とし「平水道問題解決促進會」  
なる團體を創設したが、その趣  
旨、會則等左の如し。

### 會 則

一、本會は平町水道問題解決速  
進會と稱す。  
二、本會は平町水道永遠の利益  
保全を基礎とし大瀧發電所問  
題解決の方法を研究し且つそ  
の實行を期するを以て目的と  
す。  
三、前條の目的に賛成する平町  
民を以て會員とす。  
四、本會の事務所は平町紺屋町  
十五番地磐城時報社内にてす。

## 霧笛信號機 盛大な落成式

### 盛大な落成式

本縣水産會唯一の事業として昨  
夏、盛屋岬燈臺敷地内に建設した  
霧笛信號機落成式は十五日午前  
九時、本會の費用有志家の寄附  
金を以て之に充つ

## 今年の鯉漁は 近年稀の豊漁

### 漸やく蘇生の思ひをした 石城七濱の昨今

鯉漁期に入った昨今石城各濱の漁のため二三日前まで二十割内  
漁船はそれ／＼出漁中であるが外であつた水揚相場は十三日十  
割下、鯉群は千葉縣銚子沖合に五六割に下落したがなほ盆々下  
り漸次北進しつゝあるとのこと、落するであらうと言はれ久し  
であるが、本年、近年に見られぬ豊漁等各濱は昨今漸やく活況を  
なかつた程の豊漁で出漁船は何呈して來た。

## 産馬改良

オヂヤンになつた  
歸港する有様で昨年夏以來不  
漁續きで青息吐息の体であつた  
漁業者も漸やくホツとした、豊石城産馬畜産組合では去る四日

より技術員一名を増員し産馬馬  
の體軀の改良を計る等の處、當  
局に於ける種々なる關係上技術  
員の着任は六月中旬頃迄に延期  
されてゐたが未だ何等の通牒に  
も接しないばかりか本年は來任  
の見込さへなく、ために同組合  
に於ける本年度の新計劃の如き  
根底より破壊されたので安島組  
合長初め郡下畜産業者は非常な  
打撃を蒙つてゐる。

## 石川博士 豐間視察

本縣へ技術官の派遣方を申請し  
て來た石城郡豐間村が漁業組合  
の計劃に基き同濱漁港を改修し  
小名濱港にも優る優良港たらし  
むべく逓信省燈臺局石川博士に  
よつて之れが可否の實地踏査を  
乞ふべく十五日霧笛信號機落成  
式に臨席を好機として四日間に  
亘り視察されることとなつたの  
で縣からは齋藤土木技師が出張  
案内することとなつた。

## 全町民に 豫防注射

### 狩野技師出張

湯本町入山炭礦坑夫長屋から發  
生した腸チフスは既報の如く十  
八名の多數に達し益々蔓延の兆  
候があるのが町民は不安の念に  
かられつゝあるが縣では町民全  
部に豫防注射を行ふ事となり十  
三日縣衛生課の狩野技師出張し

## 落磐で惨死 勿來町大

### 道生れ李守源(三二)は十四日午 後三時頃坑内で採炭作業中落磐 のため惨死した。

## 田植時を控へて 水不足の石城地方

### 農民 戦々 恟々

石城地方は昨今夏期の降雨少な  
く小名濱町を始め植付不能に陥  
つた水田が多かつたが本年も昨  
冬來降雨少なう田植期を控へて  
水を待つ山田村及び赤井村其見  
込なるなど、尙同日引受の繪葉  
他植付の早い山手方面は今年も  
また早魃となりかと思慮されて  
るが、水不足の箇所はいふま  
でもなく毎年同一區域なので植  
付不能に陥るやうな事があれば  
同部民は全く困窮状態に陥らね  
ばならず農會を始め對策に頭を  
悩ましてゐる。

## 紀念切手は 制限販賣

### 暗礁に乗上ぐ

本月廿日は萬國郵便聯合加盟五  
十年に相當するを以て逓信省に  
於て之が記念の爲一錢五厘、二  
錢、六錢、十錢の四種の紀念退  
の自由を失ひ波浪のため危う  
ある。

## 水源地視察團を 組織した所以

大瀧發電所設置方許可されて  
より、茲數年間、町民は騒々し  
い生活をつゞけて來たと云ふ  
よりも強い力に壓迫されて居  
る様な不安な生活を續けて來  
た、然るに今回平町が提出し  
た行政訴訟が不幸平町の敗訴  
に歸した其日より不安と云ふ  
が如き生活から解放されて晴  
晴とした心境に至つた事は一  
面不思議に堪へない、が然し  
それは許可反對同盟會員に非  
ざれば愛町民で無いと云ふが  
如き不自然な感念から離脱し  
得て自由自然な考査、行動を  
爲し待たに至つたからである

### 高久病院

院長 高久 忠  
内科・外科・耳鼻  
咽喉科・花柳病科  
平町電話一三五

### 三井吳服店で 犠牲的提供

平町吳服界の老舗三井吳服店  
は過般新館の落成を見大部分  
陳列店とし一般の好評を博し  
てゐるが来る二十日から夏衣、蚊  
張の大賣出しを開始する等であ  
るが、同店では恰かも東京い  
う松坂屋が出張賣出しを開始し  
た關係上、同店の品と比較し如  
何に安價であるかを將來の参考  
とす可、犠牲的提供をす等で  
ある。

非づ云ふ感念から遠ざかつた  
たであらう、今回平町の敗訴  
の結果又々甲論乙駁世論囂々  
たる際、町民は盲從の不可な  
るを悟り、本問題を研究して  
其結末点を見出さんとしつゝ  
あるは私の非常に愉快とする  
處である、そこで私は本問題  
の法理上、手續上の研究は後  
廻しとして水道取水口、發電  
所設置箇所、水路沿線等を實  
地視察したならば町民諸君が  
自由を考へらるゝに異常な便  
利を得らるゝ事であらうと思  
つた、それを以て町民諸君  
は今後平町は如何なる方策に  
出づるが平町利益、を考へ  
熱慮して本問題解決の途に出  
でられん事を望んでやまな  
次第である。(林甫)

